

国民健康保険・後期高齢者医療保険における 傷病手当金 支給対象期間の延長

問 国民健康保険 国保年金課国保係 ☎(95)9891
後期高齢者医療保険 医療係 ☎(95)9892

新型コロナに感染した人や発熱などの症状があり感染が疑われる人で、3日を超えて仕事が行えず、給与などの支払いを受けられなかった期間に対して傷病手当金を支給します。まずは問い合わせてください。

支給対象期間 令和2年1月1日～3年3月31日



市民病院
ハチちゃん通信

歯科用撮影装置が新しくなりました

問 市民病院管理課 ☎(48)5050



2月より歯科用撮影装置が更新され、1台の装置で歯やあごの骨の全体を写し出すパノラマ撮影と歯科の領域に特化した歯科用CT検査を行えるようになりました。パノラマ撮影は以前の装置に比べ、1度の撮影で複数枚の画像を撮影する機能（多断層撮影）があるため、人によって異なる歯並びにも対応して、明瞭な画像を撮影出来るようになりました。

歯科用CT検査は、従来のCT検査に比べ、①細かな画像を得ることが出来る②放射線の被ばく線量が少ない③立った姿勢や椅子に座った姿勢で撮影を行うなどの特徴があるため、口腔外科医師の診断に役立ち、患者の皆さんにとっても優しい装置となっています。



ほかには手術のシミュレーションで用いられる規格撮影や顎関節症の診断に用いられる顎関節撮影、地域の歯科医院によるインプラント用CT検査依頼にも対応しています。

碧南の歴史へのいざない

問 文化財課内
市史資料調査室
☎(41)4566

No.80 岡本八右衛門(1)

江戸時代の初めのころまでの大浜村はとても大きく、棚尾も新川も大浜村でした。その大浜村鶴ヶ崎（後の新川）に江戸時代の中頃からかねはちという米穀・肥料・木綿問屋を営む店がありました。この商家の5代目岡本八右衛門は、天保11年（1840）大浜陣屋の御用達並を命じられています。御用達というのは、陣屋に出入りできる御用商人のことです。

明治4年（1871）、6代目八右衛門（24歳）は大浜村北部の筆頭として郷村学校取締役に任じられました。明治10年代になると八右衛門を中心に、大浜村北部の有力者らは大浜村からの分離独立を考えるようになりました。大浜村は衣ヶ浦に沿って南北に8kmもあり、北部の人にとって南部にある村役場は遠く不便でした。またこのころ、大浜村北部は南部（本郷）と戸数、人口では同程度になっていました。し

かし、昔から村長は南部から選出され、村のきまりで村議の数も南部から多く選出されていました。そのため北部の住民は、同じように税金を納めているのに道路、橋、村の施設も南部に偏重しているように感じていました（「岡本八右衛門の時代」加藤良平著）。そこで北部の議員により、議会に分村の議題が提出されましたが、過半数を占める南部の議員によって否決されました。瓦などの窯業、醤油などの醸造業が発展している北部工業地域の分村を認めることは、村の税収が激減することを意味していたからです。

明治10年（1877）日本人同士では最後の戦となる西南戦争が終わり、時代は「物事は話し合いで決めるべし。」とする自由民権運動の時代へ入っていました。そのため分村問題は、自由民権運動の一面をもっていたのです。岡本八右衛門がこの問題にどう関わったのかを次回紹介します。



肥米穀問屋
岡本八右衛門

◁碧海郡でも指折りの豪商かねはちの全景
（明治21年発行「参陽商工便覧」複製版より）